

シーエスケイ

切板営業、鉄骨図面作成、工事請負

「熊谷営業所」軌道に

業務効率、採用促進など利便性高まる

厚板溶断加工業大手のシーエスケイ(本社・群馬県邑楽郡千代田大字木崎、社長・坂本純一氏)は、切板営業および鉄骨の図面作成/工事請負などを手掛ける事業拠点として埼玉県熊谷市内に立ち上げた「熊谷営業所」の業務基盤を強化した。本社に在籍していた営業部隊を熊谷に集約し、10月から新体制がスタート。これに先駆け図面部隊は4月に移管を終えており、総勢で26人の陣容となった。

今秋、移管・集約完了

熊谷営業所(熊谷市2階、所長・木村歩巳)はJR熊谷駅から徒歩圏内の至便地に、昨年10月に開設した。建築鉄骨向けを主体とする厚板の切板営業全般を手掛ける「営業チーム」と鉄骨専門の三次元CAD(REAL4)による鉄骨図面作成および工事請負などを手掛ける「工務チーム」、そのほか種々の業務・庶務を担う「熊谷業務チーム」の3チームで構成する。

同社は邑楽郡千代田町や太田市新田木崎町をはじめ群馬県東南エリアに事業拠点を点在。グループ会社もこの界限に立地する。事業の規模や領域の拡張・深掘りとともに販売エリアや取引先・顧客も広範囲となり、それに伴って営業スタッフの移動に掛かる手間や時間が増大。さらにはマンパワー強化に向けた新規人材の採用

も困難となっていた。これらボトルネックを解消し、業務効率化や時短、採用促進に適した新たな拠点を物色。熊谷駅前のテナントビルの一角を賃借し「熊谷営業所」として立

ち上げた経緯がある。当初は本社をはじめ既存拠点と熊谷との並行運用からスタートしたが、まずは今年4月に「工務チーム」が熊谷に全面移管。10月には営業部隊も集約し、現体制を整えた。併せて

て4月からは熊谷営業所としての人材募集も開始したが、好立地・好アクセスが寄与してこの半年強で計12人を採用している。営業活動面でも従来



鉄骨CAD・工事部隊や営業チームらが集約するフロア



熊谷営業所が入るテナントビル

万平町1-33美晴ビル)は、所長・木村歩巳はJR熊谷駅から徒歩圏内の至便地に、昨年10月に開設した。建築鉄骨向けを主体とする厚板の切板営業全般を手掛ける「営業チーム」と鉄骨専門の三次元CAD(REAL4)による鉄骨図面作成および工事請負などを手掛ける「工務チーム」、そのほか種々の業務・庶務を担う「熊谷業務チーム」の3チームで構成する。

営業活動面でも従来に比べて公共交通機関の利便性が高まり都心や上信越、東北など各地への効率的な移動が可能となったほか、首都圏から打ち合わせ等で訪れる来客も大幅に増えるなど開設メリットを享受している。